

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

それらに重要な情報が掲載されることが多くなってきました。我々としては限られた予算の中でそれに対応して新しい雑誌を購入することは殆ど不可能ですが、それでも、これらの情報がどうしても欲しいわけです。それで同じ雑誌を複数研究室で購入せず、できるだけ1ヶ所に限定して、その代わりにその情報を円滑に利用できるようにし、その分、新しい雑誌を増やすことが必要になってくるわけです。これ迄は残念ながらキャンパスが分散していることもあり、相互利用がやり難かったわけですが、本年4月に本学図書館間の文献複写サービスが整備されたのはその意味からは大変好ましいことです。このシステムが定着すれば情報資源の効率的利用の面からは画期的なことだと思われます。ただこのシステムの利用が増えれば図書館職員の業務増や、本・分館以外の分散している図書の扱いなど別の問題が起こってくる恐れもあります。何れにせよ、欲しい雑誌は増える一方なのに予算が少しも増えないのでは雑誌の種類を増やすのには限界があります。近代的図書館機能を維持するためにTainsの利用のみでなくどうしたら1次情報の面でも利用者の方々に満足していただけるかお知恵を拝借したい所です。

ところで分館には専門別図書館としてのサービスとは別に学生の教育用の図書館としての機能も当然必要になってきます。現実には学生の図書離れの傾向からか、卒論にはいる前の3年生の図書館利用率は決して高いとは言えません。指定図書以外の面白い一般的な雑誌を揃えることも必要でしょうが、どうしても研究用図書、雑誌が優先されがちです。今後利用者の方々のご支援と、学生を引きつける新しいアイデアの提供をお願いして就任の挨拶とさせていただきます。

第20回国立大学図書館東北地区協議会

4月13—14日の2日間、福島市において標記協議会が行われた。協議の結果、下記のとおり要望事項等を取りまとめ、来る6月弘前市で開催される第36回国立大学図書館協議会総会に提出することとなった。

1. 文部大臣にたいして特に要望すべき事項

- (1) 学術情報システムへの遡及入力経費の確保
- (2) 学術情報システム高速デジタル網（＝学術情報ネットワーク）の全都道府県への拡張
- (3) 外国人留学生のための資料整備費の確保

2. 総会の分科会で検討するための協議題

(1) 第1分科会

- 1) 外国人留学生のための資料整備について

(2) 第2分科会

- 1) 学術情報システムへの書誌・所蔵データの遡及入力促進について
- 2) 学術情報システム高速デジタル網（＝学術情報ネットワーク）の各都道府県への拡張について

なお、平成元年度の理事候補館及び所属部会、ならびに地区連絡館がそれぞれ次のとおり選出された。

理事候補館

山形大学附属図書館（第1部会）

東北大学附属図書館（第2部会）

地区連絡館東北大学附属図書館

第17回外国雑誌センター館会議報告

標記会議が平成元年3月10日（金）14時から17時、東京大学山上会館において開催された。

出席者は文部省から緒方邦夫学術情報課長、船戸大学図書館係長と各大学から外国雑誌センター館関係者29名であった。

はじめに、文部省学術情報課長から挨拶と平成元年度学術情報システムの整備、図書館関係予算案について説明があった。続いて、世話館である東京大学附属図書館黒田晴雄館長から挨拶があった。

次に、議事に入り、消費税に伴う複写料金の改訂について船戸大学図書館係長より概略紹介があった。続いて各センター館より、「外国雑誌センター館概要」にもとずいて収集、利用状況、収集方針、今後の課題について報告があった。

報告の内容について文部省から収集にあたって幾つかの質問があり、また、協議については、外国雑誌センター館事務打合せ会における検討の紹介があり外国雑誌センター館としての役割について再確認した。

標記会議のまえに外国雑誌センター館事務打合せ会が開かれ、協議題、①センター館における雑誌の収集及び利用の促進について、②外国雑誌の購入方法について、③1989年新規収集にかかる重複タイトルの調整について検討した。特に、購入方法については外資系企業の参加について東京工業大学から事例紹介があった。重複タイトルについては各対象館で調整し、世話館に報告することになった。

（阿部佳市記）

昭和63年度病院図書室職員研修会

標記研修会が、平成元年3月3日（金）午後1:30～5:00の間、医学分館AV室を会場に開催された。今回が第4回のこの研修会には東北公済病院ほか県内12の総合病院や医療機関から、13名の図書業務を担当している職員が参加した。

研修に先立ち櫻井分館長から、病院の医師と医学文献の収集や Index Medicus の必要性、双方の間を取り持つ図書室職員の役割と重要性にふれた挨拶があった。

続いて阿部事務長から分館関係者の紹介、前回迄の本研修会の開催状況、テーマの紹介があり、更にこの研修会は日本医学図書館協会の事業計画の一環である「地域病院図書室と医学図書館のネットワーク形成を推進する」趣旨により実施されるものであり、その具体例として、文献の提供、

相互利用の普及、協会出版物の斡旋、病院図書室発展への協力等を行うものであるとの説明がなされた。出席者の自己紹介の後、米澤運用掛長が説明者となって研修に入った。

研修テーマ：医学文献の探し方 — Index Medicus を中心にして —

主題に入る前に医学図書館で扱っている学術雑誌（一次資料）の種類とその特徴、二次資料としての索引誌、抄録誌、目次誌、引用索引誌などの具体例を実物を示して解説した。引続いて Index Medicus に入り、その歴史、今日までの変遷、出版の形態、構成、収載誌リストと内容、主題からの探し方等について、配布テキスト「IM利用の手引」と実物により説明がなされた。

最後に質疑応答及び希望者による館内見学が行われて終了した。

（医学分館）

平成元年度「医学文献検索法」のオリエンテーション

5月10日、臨床小講堂において、医学部5年生の社会医学系実習の一部として、医学文献を探すツールとして医学分館にある二次資料の利用方法のガイダンスを実施した。

対馬事務官が説明者となり、手作りのテキスト「医学文献検索の手引き」を使用し、学生30名ほどが出席した。

内容の概略は、医学文献の種類、主な参考文献・ツールの紹介、Index Medicus（以下：IM）、医学中央雑誌（以下：医中誌）での文献検索の方法、オンラインによる外部データベースを用いた文献検索の紹介、最後にT-LINESによる学内所蔵資料の検索等である。

紹介した参考文献・ツール全てについて

詳細に説明を行なうことは時間的に無理であるため、特に、代表的な二次資料であるIMと医中誌に中心を置いて利用方法の説明を行った。

IMについては、その出版形態と特徴、引用の形式、主題からの探し方、著者名からの探し方などの説明を行い、特に、見出し語となるシソーラス Medical Subject Headings（以下：MeSH）の記述と構成の特徴、適切なMeSHの探し方、さらに Subheadings を用いて索引から求める主題の文献を検索する方法を中心に説明を行った。

医中誌についてもIMと同様に構成の特徴と文献の検索方法について説明を行った。

今回の参加者が、今後、医学図書館を十分に活用されることを期待している。（医学分館）

記念資料室だより

東北帝国大学法文学部出身の日本中世史研究者であり民俗学者である大島正隆氏によって書かれた「長者ヶ原雑記」と題する文章が、『仙台郷土研究』第7巻第12号に掲載されたのは、1937年（昭和12年）12月のことであった（『東北中世史の旅立ち』そして、1987年刊に再録）。これは、大島氏が大学在学中に執筆したものであるという。飯豊の山々を背後にした美しい山村、南小国村の1部落である長者ヶ原を舞台にした山郷の民俗誌である。そこで大島氏によって明らかにされた稲作・焼畑・狩猟・漁撈といった半農・半猟の生業による村人たちの生活は、平等の原則をもって律せられる自治共同体の運用によって強く支えられており、東北農村にありがちな封建的な地主・小作関係を中心にした村落生活とはおよそ異な

った様相を示していた。長者ヶ原・小玉川両部落からなる村寄合で経営する秘湯、飯豊温泉の美しいたたずまいは、部落の村人たちの相互連帯にもとづく自治の共同性の象徴でもあるかのようであり、氏のみずみずしい感受性に満ちた叙述の前には心を動かされる。珠玉の短編である。

この「長者ヶ原雑記」は、末尾の付記によれば「昭和11年秋の調査の記録の一部」である由であるが、最近成城大学民俗学研究所より当室に寄贈された大島氏の筆になる『採集手帖』（コピー）のなかに、「山形県西置賜郡北小国・小国本・南小国」3村のものがある。手帖冒頭には「昭和11年夏の2週間（第1回6日間、第2回8日間）」に採集したこととなっており、「雑記」執筆を意識した調査ではなかったかもしれないが、長者ヶ

原あたりの民俗に関することがらで「雑記」に記されていないことも少なからず採集されており、その内容にはとても興味深いものがある。大島氏は、この頃既に柳田国男の主宰する郷土生活研究所による全国の山村・海村の民俗調査活動に関わっており、この『採集手帖』も調査成果として柳田の手元へ送られたものであったらしい（大石直正「大島正隆の民俗学」『国史談話会雑誌』第28号）。なお当室は上記の山形県西置賜郡の『手帖』の他、沿海地方用の『採集手帖』として大島氏執筆分の「島根県隠岐郡都万村」のもの、「岩手県九戸郡字部村」のもののコピーも併せて受贈した。これらはともに1938年（昭和13年）に記入されたもので、この頃には大島氏は海村民俗調査の

主力メンバーの1人となって柳田のもとで活躍していたようである。

ところで、東北帝国大学法文学部では、1937年度（昭和12年）に柳田国男を講師とする集中講義「日本民俗学」が開講された。これは日本民俗学が帝国大学において初めて講じられた記念すべき講義であり、この講義を学生の一人として受講した大島氏が筆記した講義ノートが今も残っているという。当室には、この講義の単位レポートとして大島氏が作成・提出した「葬送に関する二、三の報告」なる原稿も保管されており（柳田の評言付き）、上記の講義ノートについても今後何らかのかたちで内容を窺い知ることができたら、との期待を抱いているところである。

昭和63年度文部省指定高額外国図書購入報告

標記について、この度下記資料を購入し、本館マイクロフォーム室に配置しましたのでご利用下さい。

資 料 名	The House of Commons Parliamentary Papers, 1901-1921. 1 set (17,944 fiches) (20世紀初頭英国下院議会文書集)
出 版 形 態	Microfiche
内 容	19世紀英国の議会文書に続くもので、下院に提出された法律案、各種調査委員会の報告書、政府提出資料などをマイクロフィッシュに収録したもの。

昭和63年度特別図書購入報告

特別図書購入費（文部省配分）によって下記資料を購入し、本館に備え付けましたので、御利用下さい。

番号	資 料 名	出版形態	内 容	備 考
1	日本初期新聞全集 第1期 1～16巻	復刻版	幕末維新の激動期に草創された邦字・欧字紙の集大成。第1期・第2期を併せて約300紙にのぼるほとんどの新聞を網羅し、これを編年体編集したもの。第1期全20巻のうちの既刊分。	
2	Aetas Kantiana (カント研究諸集成) 48 vols.	Reprint	これまでのドイツ観念論は、カント・フィヒテ・シェリング・ヘーゲルと辿られるのが一般的であった。しかし、今日その周辺の哲学運動への関心が高まっている。本資料集にはこの現今の学的関心に応える重要な資料である。	
3	Eranos Jahrbücher. Vol. 1-25. (エラノスの年報)	Original	1930年代以来、世界の主要な宗教・哲学・倫理学・芸術・美学などの研究者がスイスのチューリッヒで研究会議を開いてきた。本年報はその報告で学的価値が高い。	
4	Bayle, P. - Dictionnaire historique et critique. Nouvelle édition. 16 vols. (ペール「歴史的批判的事典」新版)	Original	歴史とその批評に関する事項を網羅した事典。	
5	Early English Books. STC I Unit. 61 STC II Unit. 68-70 (初期英語印刷文献集成)	Microfilm	1475年から1640年 (STC I), 1641年から1700年 (STC II) の間にイギリス、スコットランド、英領アメリカ各州で刊行された主要な英語書籍を収録した文献集成である。	継続 STC I は Unit. 61で完結
6	Studien und Dokumentationen für deutschen Bildungsgeschichte. (Hrsg. von C. Fuhr und W. Mitter) Bd. 1-22 (ドイツ教育史研究叢書)	Original	ドイツ人間形成史に関する論文を収めた叢書。	
7	Collection of German Dissertations on Legal Philosophy. 1841-1984. 100 vols. (ドイツ法哲学関係学位論文)	Original	19世紀末から最近に至るまでのドイツ法哲学関係学位論文を集めたもの。	
8	I. L. O. Studies and Reports. 1920-1945. 50 vols. (国際労働機構、研究及び調査報告)	Reprint	本シリーズは、I. L. O. (国際労働機構) が創立から第二次大戦まで行った社会政策上の重要問題に関する調査、研究報告を収録しており、経済政策、労働問題等の社会学的、歴史的課題が取り上げられ、第一次資料の古典として高く評価されている。	
9	明治初期辞書集成。第三期。 50 reels.	Microfilm	中国古典(経書・史書・詩文)の字引類および明治日本の修身書の字引類を集めたもの。国語学・日本思想史学の重要な資料である。	既蔵： 第一～二期

「学術図書資料購入助成金」による図書の購入について

木這子 Vol. 12, No. 4 (1988) にて既にご紹介しておりますが、本学名誉教授水野勝義氏（医学部眼科学講座担当）からのご好意による「奨学寄附金」によって下記学術資料を購入いたしました。資料の選定・購入までに長い時間を要しましたが、整理を終えて医学分館3階の書架に一括配架をして研究者・学生の利用に供しております。

資料は既に利用されておりますが、先生のご趣旨に副って大いに活用されることを期待しております。

先生には、この場をかりてご報告申し上げますと共に益々のご健勝をお祈りいたします。

（医学分館）

水野勝義名誉教授奨学寄付金による購入図書リスト

著 者 名 等	書 名 ・ 巻 号	出 版 社	刊 年
	自然科学系「理・工・農・医」表現和英辞典	小 倉 書 店	1985
	自然科学系「理・工・農・医」学術用語和英大辞典	〃	1984
	科学技術論文、報告書その他の文書に必要な英語文型・文例辞典（増補決定版）	〃	1987
平 野 岳 毅	最新英文診療マニュアル	新 興 医 学	1987
阿 部 正 和	医師養成—医学教育を中心として—	日 本 評 論	1988
脇 尾 勝 臣	医学英語 第2版	診 療 新 社	1988
Elick, D. J. マサチューセツ工科大学出版	バイオテクノロジー 生物技術戦略	同 文 書 院	1988
鷺 田 小弥太	脳死論—人間と非人間との間	三 一 書 房	1987
吉 松 和 哉	医者と患者	岩 波 書 店	1987
デイトリヒ, リッチュル	医の倫理への提言	ル ガ ー ル 社	1987
佐久間 昭	医学統計 Q & A	金 原 出 版	1987
大 鳥 蘭三郎	医学書誌論考	思 文 閣	1987
加 納 喜 光	中国医学の誕生	東 京 大 学	1987
長 橋 捷	医学略語辞典	朝 倉 書 店	1987
水 野 勝 義	図説眼科手術書 上・下巻	メジカルビュー	1985
〃	診療眼科学 1—2巻	金 原 出 版	1987
松 井・馬 場	眼科治療ハンドブック	南 山 堂	1986
植 村 恭 夫	ベットのサイドの眼科学	〃	1987
松 井 瑞 夫	蛍光眼底アトラス 2版	〃	1988
飛 見 立 郎	眼疾患のやさしい知識	〃	1986
本 瀬 賢 治	点眼剤	〃	1986
大 庭 紀 雄	遺伝性眼底疾患	〃	1988
所 教	屈折異常とその矯正	〃	1988
金 子 明 博	眼部悪性腫瘍のTNM 分類と解説	〃	1986

Phelps, C. D. & Kolder, H. E.	眼科手術マニュアル(原書名:Manual of Common Ophthalmic Surgical Procedures)	メディカルブッ クサービス(名 古屋)	1988
石原・鹿野	小眼科学 第20版	金原出版	1984
丸尾敏夫	眼科診断指針	医歯薬	1986
〃	眼病アトラス	文光堂	1985
清水弘一	標準眼科学	医学書院	1986
眼科 Surgeons の会	網膜剥離の手術	〃	1987
丸尾・久保田	斜視・弱視診療アトラス	金原出版	1987
山本裕子	斜視・弱視の診断検査法	医学書院	1987
田中直彦	現代の眼科学	金原出版	1987
湖崎 克	臨床小児眼科学	南山堂	1987
野寄・清水	レーザー眼治療	医学書院	1987
総務庁	角膜及び腎臓の移植に関する現状と課題	大蔵省印刷局	1987
久富 潮	眼瞼の形成手術	金原出版	1987
中島 章	VDT 障害	〃	1987
藤永・松浦	白内障	〃	1987
深見 嘉一郎	色覚異常	〃	1987
森・本間	日本の医学・医療の問題点を明らかに —英文(Medical Science and Health Care in the Coming Century)	Elsevier	1987
西山茂夫	眼科医のための皮膚疾患アトラス	南江堂	1987
田坂定考他	症候群事典	金原出版	1984
三島 濟一他	眼科 MOOK 1-36	〃	1978-88
石川・宮田	眼科Q&A(全3巻) 1 一般眼科 2 神経眼科 3 外科眼科・全身疾患と眼	〃	1986
弓削 経一	眼科診療—卒後研修のために—	〃	1981
丸尾敏夫	眼科放射線診断アトラス	医学書院	1982
市川・湖崎	眼科器械の使い方 第2版	〃	1982

著者名・書名・巻号	出版社	刊年
Heckenlively, J.R. ed. Retinitis Pigmentosa.	Lippincott	1988
Gass, J. Donald. Stereoscopic Atlas of Macular Diseases; Diagnosis and Treatment. 3ed. 2 Vols.	Mosby	1987
Jack, Rootman. Diseases of the Orbit.	Lippincott	1988
David, A. Newsome. Retinal Dystrophies and Degenerations.	Raven Press	1988
Scuderi, G. & Brancato, R. Atlas of Clinical Ophthalmoscopy.	Masson	1987
Anderson, D.R. Perimetry; With and Without Automation 2nd ed.	Mosby	1987

Bartholomew, R. S. Practical Guide to Cataract and Lens Implant Surgery.	Churchill	1986
Brightbill, F. S. Corneal Surgery; Theory, Technique and Tissue.	Mosby	1986
Griffith, D. G. et al. Cutaneous Abnormalities of the Eyelid and Face; An Atlas with Histopathology.	MaGraw-Hill	1987
Mcpherson, A. R. et al. Retinopathy of Prematurity; Concepts and Controversies.	Decker	1986
Miller, S. Clinical Ophthalmology.	Wright	1987
Moses, R. A. & W. M. Hart, Jr. Adler's Physiology of the Eye, 8th ed.	Mosby	1987
Newell, F. W. Ophthalmology; Principles and Concepts. 6th ed.	Mosby	1986
Stark, W. J. Anterior Segment Surgery; Intraocular Lenses, Lasers, and Refractive Keratoplasty.	Wilkins	1987
Stein, H. A. et al. Ophthalmic terminology; Speller and Vocabulary Builder. 2nd ed.	Mosby	1987
Abbott, R. L. ed. Surgical Intervention in Corneal and External Diseases.	Grune & Stratton	1987
Blankenship, G. W. et al. Basic Advanced in Vitreous Surgery.	Springer	1986
Cairns, J. E. ed. Glaucoma. 2 Vols.	Grune & Stratton	1986
Kanski, J. J. Uveitis; A Colour Manual of Diagnosis and Treatment. 2.	Butterworths	1987
Krieglestein, G. K. ed. Glaucoma Update III.	Springer	1987
Macallister, J. A. & Wilson, R. R. Glaucoma.	Butterworths	1986
Miller, D. ed. Clinical Light Damage to the Eye.	Springer	1987
Naumann, G. O. H. et al. Pathology of the Eye.	Springer	1986
Older, J. J. Eyelid Tumors; Clinical Diagnosis and Surgical Treatment.	Raven Press	1987
Pau, H. Differential Diagnosis of Eye Diseases. 2nd Rev. ed.	Thieme	1988
Renie, W. A. ed. Goldberg's Genetic and Metabolic Eye Diseases. 2nd ed.	Little, Brown med.	1986
Schwab, I. R. ed. Refractive Keratoplasty. (Contemporary Issues in Ophthalmology. Vol. 4)	Churchill	1987
Schelds, M. B. Textbook of Glaucoma. 2nd ed.	Williams & Wilkins	1987

Smolin, G. & O'Connor, G.R. Ocular Immunology. 2nd ed.	Little, Brown med.	1986
Spencer, W.H. Ophthalmic Pathology; An Atlas and Textbook. 3rd ed. Vol. 1. Vol. 2. Vol. 3.	Saunders	1985- 86
Stefani, F.H. & Hasenfratz, G. Macroscopic Ocular Pathology; An Atlas Including Correlations with Standardized Echography.	Springer	1987
Tabbara, K.F. & Hyndiuk, R.A. Infections of the Eye.	Little, Brown med.	1986
Vaughan, D. & Asbury, T. General Ophthalmology. 11th ed.	Appleton & Lange	1986
Hirschberg, J. The History of Ophthalmology. Vol. 1-7, 8A, 8B, 11(2).		1988
Kennard, C. & F. Clifford Rose. ed. Physiological Aspects of Clinical Neuro-Ophthalmology.	Chapman & Hall	1988
Gardner, T.W. & Shoch, D. Handbook of Ophthalmology.	Appleton	1987
Dinning, W.J. Systemic Inflammatory Disease and the Eye.	wright	1987
Phelps, C.D. Manual of Common Ophthalmic Surgical Procedures.	Churceill	1986
Bankes, J.L.K. Clinical Ophthalmology: A Text and Colour Atlas. 2nd ed.	Churceill	1987
Hatt, M. Ophthalmic Plastic and Reconstructive Surgery.	Thieme	1986
Hess, R.F. & Plant, G.T. Optical Neuritis.	Cambridge	1986
Kanski, J.J. The Eye in Systemic Diseases.	Butterworths	1986
Kanski, J.J. Retinal Detachment; A Colour Manual of Diagnosis and Treatment.	"	1986
Karcioglu, Z.A. ed. Laboratory Diagnosis in Ophthalmology.	Colloer macmillan	1987
Kraus-mackiw, E. & O'Connor, G.R. Uveitis; Pathophysiology and Therapy. 2nd ed.	Thieme	1986
Nover, A. The Ocular Fundus; Methods of Examination and Typical Findings. 5th ed.	Schattauer	1987
Rhode, S.J. & Ginsberg, S.P. Ophthalmic Technology; A Guide for the Care Assistant.	Raven Press	1987
Hirschberg, J. The History of Ophthalmology. Vol. 1-11.	Wayenborgh	1985- 86
Progress in Retinal Research. Vol. 1 (1982)-7(1988).	Pergamon Press	1982- 88

附属図書館商議会商議員名簿

元. 4. 1 現在

所 属	氏 名	任 期	所 属	氏 名	任 期
図 書 館 長	勾 坂 馨		薬学部教授	長 哲 郎	63. 4. 1～2. 3.31
医学分館長	櫻 井 實		工学部教授	守 田 徹	元. 4. 1～3. 3.31
北青葉山分館長	高 柳 洋 吉		農学部教授	竹 内 昌 昭	"
工学分館長	只 木 楨 力		教養部教授	河 上 税	元. 4. 1～2. 3.31
農学分館長	山 下 恭 平		金 研 教 授	藤 森 啓 安	元. 4. 1～3. 3.31
事務局 長	垂 木 祐 三		選 研 教 授	秋 葉 健 一	元. 4. 1～2. 3.31
文学部教授	鈴 木 則 郎	元. 4. 1～3. 3.31	抗 研 教 授	田 中 元 直	元. 4. 1～3. 3.31
教育学部教授	木 村 力 雄	"	科 研 教 授	矢 田 慶 治	63. 4. 1～2. 3.31
法学部教授	宮 田 光 雄	63. 4. 1～2. 3.31	速 研 教 授	増 田 英 俊	元. 4. 1～3. 3.31
経済学部教授	上 村 久 雄	元. 4. 1～3. 3.31	通 研 教 授	稲 場 文 男	63. 4. 1～2. 3.31
理学部教授	櫻 井 英 樹	63. 4. 1～2. 3.31	非水研教授	宝 澤 光 紀	元. 4. 1～3. 3.31
医学部教授	林 典 夫	63.12. 1～2. 3.31	遺生研教授	服 部 勉	63. 5.17～2. 3.31
歯学部教授	本 間 久 夫	元. 4. 1～3. 3.31			

平成元年度図書館関係行事予定 (上半期)

○第20回国立大学図書館東北地区協議会

日 時 4月13日～14日

場 所 福島市 グリーンパレス

○平成元年度国立大学附属図書館事務部課長会議

日 時 5月29日

場 所 東京医科歯科大学

○国立大学図書館協議会常務理事会

日 時 5月30日

場 所 東京大学附属図書館

○平成元年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会・専門委員会

日 時 5月30日

場 所 東京大学附属図書館

○平成元年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会(第2回)

日 時 5月30日

場 所 東京大学附属図書館

○国立大学図書館協議会理事会

日 時 5月31日

場 所 東京大学附属図書館

○第60回日本医学図書館協会総会

日 時 6月1日～2日

場 所 日本大学歯学部図書館

○第26回国公立大学図書館協力委員会

日 時 6月7日

場 所 大阪大学附属図書館

○第36回国立大学図書館協議会総会

日 時 6月28日～30日

場 所 弘前文化会館, 同中央公民館
ホテル・ニューキャッスル

○第16回医学図書館員セミナー

日 時 8月1日～2日

場 所 岩手医科大学附属図書館

○第24回医学図書館員研究集会

日 時 8月8日～11日

場 所 兵庫医科大学図書館

○学術情報センター目録システム講習会(地域講習会)

日 時 8月28日～9月1日

場 所 東北大学附属図書館

○第40回東北地区大学図書館協議会

日 時 9月22日～23日

場 所 山形大学附属図書館

平成元年度 附属図書館本館開館予定表

4 月	日	月	火	水	木	金	土	10 月	日	月	火	水	木	金	土
	・	・	・	・	・	・	1		①	2	3	4	5	6	7
	②	3	4	5	6	7	8		⑧	9	⑩	11	12	13	14
	⑨	10	11	12	13	14	15		⑮	16	17	18	19	20	21
	⑯	17	18	19	20	21	22		⑳	23	24	24	26	27	28
5 月	⑳/㉓	24	25	26	27	28	㉔	11 月	㉔	30	31	・	・	・	・
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
	・	1	3	③	④	⑤	6		・	・	・	1	2	③	4
	⑦	8	9	10	11	12	13		⑤	6	7	8	9	10	11
	⑭	15	16	17	18	19	20		⑫	13	14	15	16	17	18
6 月	⑳	22	23	24	25	26	27	12 月	⑬	20	21	22	㉓	24	25
	㉓	29	30	31	・	・	・		⑭	27	28	29	30	・	・
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
	・	・	・	・	1	2	3		・	・	・	・	・	1	2
	④	5	6	7	8	9	10		③	4	5	6	7	8	9
7 月	⑪	12	13	14	15	16	17	1月 (2年)	⑩	11	12	13	14	15	16
	⑯	19	20	21	㉔	23	24		⑪	18	19	20	21	22	㉓
	㉔	26	27	28	29	30	・		⑫	25	26	27	㉔	㉔	㉔
	⑳/㉓	24/	25	26	27	28	29		⑬	29	30	31	・	・	・
	㉓/	31	・	・	・	・	・		⑭	・	①	②	③	④	5
8 月	日	月	火	水	木	金	土	2 月	⑮	8	9	10	11	12	13
	・	・	1	2	3	4	5		⑯	⑮	16	17	18	19	20
	⑥	7	8	9	10	11	12		⑰	22	23	24	25	26	27
	⑬	14	15	16	17	18	19		⑱	29	30	31	・	・	・
	⑳	21	22	23	24	25	26		日	月	火	水	木	金	土
9 月	㉔	28	29	30	31	・	・	3 月	・	・	・	・	1	2	3
	日	月	火	水	木	金	土		④	5	6	7	8	9	10
	・	・	・	・	・	1	2		⑪	12	13	14	15	16	17
	③	4	5	6	7	8	9		⑫	19	20	㉔	22	23	24
	⑩	11	12	13	14	⑮	16		⑬	26	27	㉔	29	30	31
10 月	⑰	18	19	20	21	22	㉓	11 月	⑭	2	3	4	5	6	7
	㉔	25	26	27	28	29	30		⑮	9	⑩	11	12	13	14
	日	月	火	水	木	金	土		⑯	16	17	18	19	20	21
	・	・	・	・	・	・	・		⑰	23	24	24	26	27	28
	③	4	5	6	7	8	9		⑱	30	31	・	・	・	・

1. ○ 印 休館日
2. □ 印 開館時間短縮 (月～金 9:00～17:00)
(土 9:00～12:30)

お 知 ら せ

平成元年度東北大学附属図書館本館開館時間について

このことについて、下記のとおり開館いたします。

記

曜 日	開 館 時 間
月曜日 ～ 金曜日	9:00 ～ 20:00
土曜日	9:00 ～ 17:00

但し、次の期間は開館時間を変更します。

期 間	開 館 時 間
平成元年 4月1日(土)～4月11日(火) 平成元年 7月24日(月)～9月7日(木) 平成元年 12月25日(月)～12月27日(水) 平成2年 1月5日(金)～1月6日(土) 平成2年 3月1日(木)～3月31日(土)	月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～ 17:00 土曜日 9:00 ～ 12:30

なお、休館日は次のとおりです。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日
- (3) 本学創立記念日(平成元年6月22日)
- (4) 年末年始(平成元年12月28日～平成2年1月4日)
- (5) 本学卒業式当日(平成2年3月28日)

その他、臨時に休館又は開館時間の変更をする場合は、その都度お知らせします。

人 事 異 動

発令年月日	旧 官 職	氏 名	新 官 職	備 考
平成 元. 3. 1	医学分館 事務補佐員	大 波 邦 靖		辞 職
元. 3. 18	情報サービス課 //	斉 藤 淳 子		"
"	医学分館 //	佐々木 雅 子		"
元. 3. 31	総務課庶務掛長(総務班主査)	志 賀 豊		定 年
"	情報サービス課 事務補佐員	花 岡 弘 之		辞 職
"	医学分館 //	青 木 繁 昌		辞 職
"	" //	富 田 品 子		"

発令年月日	旧官職	氏名	新官職	備考
平成 元. 3. 31	医学分館 事務補佐員	宮 前 理 香		辞 職
元. 4. 1	情報管理課長	徳 田 洋 一	弘前大学附属図書館事務部長	昇 任
"	新潟大学附属図書館 情報管理課長	遠 藤 哲 朗	情報管理課長	配 置 換
"	高速力学研究所 庶務掛長	横 山 剛	総務課 庶務掛長（総務班主査）	"
"	情報管理課 逐次刊行物掛長	佐 藤 正 弘	北青葉山分館 整理・運用掛長	"
"	北青葉山分館 整理・運用掛長	佐々木 勝 義	情報管理課 逐次刊行物掛長	"
"	文学部 庶務主任	安 部 和 憲	医学分館 総務掛長	昇 任
"	情報管理課 文部事務官	松 井 好 次	学術情報センター 雑誌目録情報係長	"
"	学術情報センター 文部技官	大 山 貢	総務課 文部事務官	転 任
"		佐々木 美 奈	情報サービス課 事務補佐員	採 用
"		森 千 恵	医学分館 事務補佐員	"
"		長 田 満 枝	" "	"
"		近 藤 陽 子	" "	"
"	医学分館 総務掛長	山 崎 俊 昭	抗酸菌病研究所 人事掛長	配 置 換
元. 5. 1	総務課 文部事務官	佐 藤 義 則	情報管理課 文部事務官	"
"	情報管理課 "	佐 藤 博 子	医学分館 "	"
"	北青葉山分館 "	藤 沢 和 子	情報管理課 "	"
"	情報サービス課 "	京 極 菊 子	北青葉山分館 "	"
"	医療技術短期大学部 "	沼 田 恵 美	情報サービス課 "	"
"	情報サービス課 "	芳 賀 博	医学分館 "	"
"	医学分館 "	湯 目 昌 史	情報サービス課 "	"
"	" "	吉 川 文 子	医療技術短期大学部 "	"
"		佐 藤 聡	医学分館 事務補佐員	採 用
"		高 橋 健 一	" "	"

東北大学附属図書館報「木遣子」 第14巻 第1号（通巻第53号）発行日 平成元年5月31日

編集委員長 菅沢栄治 編集委員 大泉秀則、佐藤定夫、佐々木勝義、菅野博之

発行人 相良侯秀 発行所 東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 電話代表 222-1800 (2403)